KnownFor

上場企業の AI 検索とセキュリティ

2026年11月14日〜11月15日の調査・上場企業 2,911社の公式サイト

72.1%
AI 検索に読まれる基本が欠けている



80.3%
なりすましメールを止める設定が無い



69.6%
外から見える重大か注意がある



今週の示唆

AI 検索の準備とセキュリティの両方が、全体より進んでいる業種は 32業種のうち 5業種です。

AI 検索の準備が進んだ業種ほど、外から見えるセキュリティの課題が多い傾向があります（32業種・相関 -0.39）。会社単位では、AI 検索に読まれる基本がそろい、外から見える重大・注意も無い会社は 6.4% です。

AI 検索のクローラーを止めていない会社は 99.8%。AI には社名と中身を読ませている一方で、社名をかたるなりすましメールを止める設定が無い会社は 80.3% です。

数字はすべて「改善が必要な会社の割合」（低いほど良い）。色は 赤 50%を超える・橙 10%を超え50%以下・緑 10%以下。調べた範囲は、公式サイトのトップページ・robots.txt・メールの設定（DNS）で、外から見える範囲だけです。会社名の分からない集計で、5社未満の区分は出しません。株式会社アーグマックスが調査用に開発した一斉点検の仕組み（非売品）で調べました。市販の KnownFor には含まれません。市販の KnownFor では、組織に所属し登録された担当者だけが、その組織のサイトを点検できます。

01

AI に読まれる準備

AI 検索は、公式サイトを答えの材料にします。止めている会社はほとんど無く、差は中身の書き方に出ています。

72.1% 進んでいない

AI 検索に読まれる基本が欠けている ▼ -0.4pt

AI 検索を止めていない・noindex なし・本文が HTML に・title・説明文・JSON-LD のどれかが欠けている

放っておくと：AI の答えに出にくい・ほかのサイトの情報で答えられやすい

77.9% 進んでいない

AI に会社の説明（JSON-LD）を渡していない ▼ -0.3pt

Organization など、会社を表す種類

放っておくと：AI が社名・所在地・公式の連絡先を取り違えやすい

75.1% 進んでいない

更新日が機械で読めない ▼ -0.2pt

dateModified・article:modified_time など

放っておくと：新しい情報か古い情報か、AI が見分けにくい

7.9% 進んでいる

ページの説明文が無い ▼ -0.2pt

meta description

放っておくと：検索や AI が、ページの要約を自分で作る

2.4% 進んでいる

本文が HTML に書かれていない ▲ +0.1pt

JavaScript を動かさないと AI が読めない

放っておくと：AI が本文を読めず、中身の無いページに見えやすい

0.2% 進んでいる

AI 検索のクローラーを止めている ▲ +0.1pt

robots.txt：ChatGPT・Perplexity・Claude・Google・Bing の、答えに使うクローラー

放っておくと：ChatGPT などの AI 検索が、御社のページを答えの材料にできない

llms.txt を置いていない：95.6%。学習用のクローラーを止めていない：99%（AI に読ませるかどうかを決めたというより、初期の設定のままと見られます）。右の数字は先週からの差。

02

外から見えるセキュリティ

AI に読まれる入口は、攻撃する側からも同じように見えています。同じ上場企業を、外から見える範囲で確認しました。

なりすましメールへの備え（DMARC）の3段



80.3% 進んでいない

なりすましメールを止める設定が無い

▼ -0.2pt

DMARC が quarantine・reject でない（DMARC そのものが無い 23.8%・見張るだけ 56.4%）

> 放っておくと：社名をかたる偽メール（例：カード会社を名乗る偽メール。国は拒否の設定を要請（2023年））

76.5% 進んでいない

ブラウザ向けのセキュリティの設定が足りない

▼ -0.3pt

CSP・HSTS など（CSP が無い 86.4%・HSTS が無い 66.3%）

> 放っておくと：入力の抜き取り（例：決済ページのカード情報 約3万件（国内の通販・2025年））

44.5% 途中

ソフトのバージョン番号が外から見える

▼ -3.2pt

古い版・脆弱性のある版が見える 17.8%

> 放っておくと：公表された弱点を狙われる（例：AI の侵入テストのツールで国内企業 約20社が標的（2026年））

9.3% 進んでいる

http で開くと https に転送されない

▲ +0.2pt

http:// で開いたとき

> 放っておくと：盗み見・差し替え（例：ソフトの差し替え（トルコ・2018年））

99.4% 進んでいない

セキュリティの連絡先（security.txt）が無い

▲ +0.1pt

脆弱性の連絡先

> 放っておくと：知らせ先が無く、発見が遅れる

69.6% 進んでいない

外から見える重大か注意がある

▼ -2.8pt

重大がある 0.7%

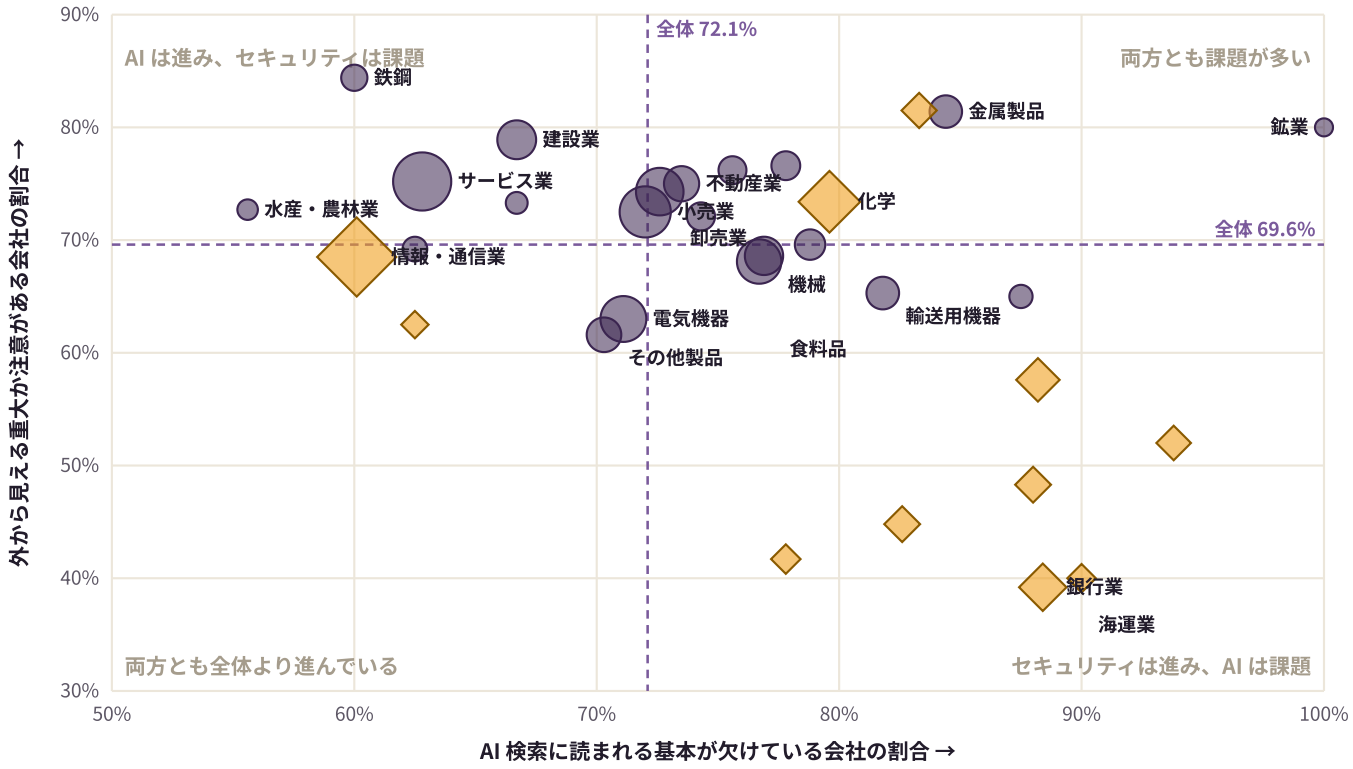
> 放っておくと：同じ入口が開いたまま（例：直す更新が出て3年後に攻撃・約32万人（米国の通販・2019年））

外から見える範囲の確認で、侵入テストではありません。安全を保証するものではありません。例は公的機関の発表と報道で確認したセキュリティ・インシデントです（会社名は伏せています）。

03

クロス分析：AI × セキュリティ

AI 検索の準備とセキュリティの両方が、全体より進んでいる業種は 32業種のうち 5業種です。AI 検索の準備が進んだ業種ほど、外から見えるセキュリティの課題が多い傾向があります（32業種・相関 -0.39）。



点＝業種（大きさは社数）。◆は重要インフラの分野に関わる業種。線は上場企業の全体の値。名前は社数の多い業種と端の業種だけ（すべての業種は付録の表）。業種の傾向で、個々の会社に当てはまるとは限りません。

両方とも全体より進んでいる（5業種）	石油・石炭製品・非鉄金属・電気機器・その他製品・情報・通信業
AI は進み、セキュリティは課題（6業種）	水産・農林業・建設業・ゴム製品・鉄鋼・小売業・サービス業
セキュリティは進み、AI は課題（11業種）	食料品・パルプ・紙・機械・輸送用機器・電気・ガス業・陸運業・海運業・銀行業・証券、商品先物取引業・保険業・その他金融業
両方とも課題が多い（10業種）	鉱業・繊維製品・化学・医薬品・ガラス・土石製品・金属製品・精密機器・倉庫・運輸関連・卸売業・不動産業

	外から見える重大・注意が無い	重大か注意がある
AI 検索に読まれる基本がそろう	**6.4%** 両方そろう	**21.5%** AI だけ
基本が欠けている	**19%** セキュリティだけ	**53.1%** 両方まだ

なりすましの二重の隙：62.5%　AI に会社の説明（JSON-LD）を渡しておらず、社名をかたるメールも止めていない会社の割合（メールを受け取るドメインの会社のうち）。AI が社名や公式の連絡先を取り違えやすく、同時に偽メールも届きやすい状態です。

示唆

業種の傾向からは、AI 検索に読まれる準備と外から見えるセキュリティが、別々に進められていることがうかがえます。けれど、AI が社名と中身を広めるほど、その社名は信頼の目印になり、なりすましの的にもなります。読まれる準備と守りは、同じ1本の線（GEO 成熟度）の上で、そろえて進めるのが近道です。

04

先週との変化

先週（2026年11月7日）の調査と比べた差です。改善が必要な割合なので、下がれば良くなっています（▼）。

指標	今週	先週から
AI 検索に読まれる基本が欠けている	72.1%	▼ -0.4pt
AI に会社の説明（JSON-LD）を渡していない	77.9%	▼ -0.3pt
なりすましメールを止める設定が無い	80.3%	▼ -0.2pt
ソフトのバージョン番号が外から見える	44.5%	▼ -3.2pt
外から見える重大か注意がある	69.6%	▼ -2.8pt

AI 検索に読まれる基本が欠けている割合が、先週より**下がった（良くなった）業種**：鉄鋼（-4.5pt）・水産・農林業（-4.4pt）・繊維製品（-3.2pt）。**上がった業種**：電気・ガス業（+8.8pt）・倉庫・運輸関連（+6.4pt）・パルプ・紙（+5.1pt）。

05

示唆から打ち手へ

クロス分析で見えた「なりすましの二重の隙」と「外から探される入口」を閉じる、3つの打ち手です。

1 **なりすましメールを止める設定にする** GEO 成熟度 レベル1（セキュリティ）

まだの会社：**80.3%**

DMARC を「見張るだけ（p=none）」から「隔離（quarantine）」か「拒否（reject）」へ。先に、会社から送っているメールのサービスを洗い出し、届かなくなるメールが無いかを確かめてから切り替えます。

2 **AI に会社の説明を渡す** GEO 成熟度 レベル2（正しく読まれる）

まだの会社：**77.9%**

トップページに、会社名・所在地・公式の連絡先・公式サイトの住所を、構造化データ（Organization の JSON-LD）で書きます。AI が社名や連絡先を取り違えにくくなります。

3 **ソフトのバージョン番号を外から見えなくする** GEO 成熟度 レベル1（セキュリティ）

まだの会社：**44.5%**

サーバーや CMS が返すバージョン番号を隠し、古い版・脆弱性のある版は更新します。公表された弱点を、外から機械で探されにくくなります。

自社がどの区分にいるかは、1回の点検で分かります。ホームページ点検報告書（1回）30,000円（税別）・早ければ当日。毎週の点検は月 40,000円（税別）から。

www.knownfor.jp ／ 資料：www.knownfor.jp/docs/

付録

業種別の表

業種	社数	AI 検索に読まれる基本が欠けている	会社の説明（JSON-LD）が無い	なりすましメールを止める設定が無い	バージョン番号が見える	重大か注意がある
上場企業の全体	**2,911**	**72.1%**	**77.9%**	**80.3%**	**44.5%**	**69.6%**
水産・農林業	11	55.6%	55.6%	90.9%	44.4%	72.7%
鉱業	5	100%	100%	100%	20%	80%
建設業	124	66.7%	74.8%	85.3%	47.7%	78.9%
食料品	119	76.9%	82.6%	87.7%	45.9%	68.6%
繊維製品	43	74.3%	80%	86%	60%	72.1%
パルプ・紙	20	87.5%	87.5%	88.9%	37.5%	65%
化学 重要インフラ：化学	174	79.6%	82.1%	72.5%	40.7%	73.4%
医薬品	57	78.8%	82.7%	89.1%	40.4%	69.6%
石油・石炭製品 重要インフラ：石油	8	62.5%	75%	100%	62.5%	62.5%
ゴム製品	15	66.7%	83.3%	80%	66.7%	73.3%
ガラス・土石製品	47	77.8%	86.7%	86.7%	55.6%	76.6%
鉄鋼	33	60%	71%	84.4%	45.2%	84.4%
非鉄金属	26	62.5%	75%	78.3%	37.5%	69.2%
金属製品	71	84.4%	84.4%	89.4%	51.6%	81.4%
機械	183	76.7%	80.4%	78.1%	40.5%	68.1%
電気機器	200	71.1%	73.9%	73%	40%	63%
輸送用機器	72	81.8%	83.3%	79.7%	39.4%	65.3%
精密機器	42	75.6%	87.8%	75.6%	41.5%	76.2%
その他製品	87	70.3%	79.7%	84.8%	37.8%	61.6%
電気・ガス業 重要インフラ：電力・ガス	25	93.8%	93.8%	79.2%	25%	52%
陸運業 重要インフラ：鉄道・物流	59	88.2%	92.2%	84.6%	27.5%	57.6%
海運業 重要インフラ：物流・港湾	10	90%	90%	71.4%	20%	40%
空運業 重要インフラ：航空・空港	5	—	—	60%	—	60%
倉庫・運輸関連 重要インフラ：物流・港湾	27	83.3%	83.3%	76%	45.8%	81.5%
情報・通信業 重要インフラ：情報通信	341	60.1%	67.3%	80.1%	42.9%	68.5%
卸売業	221	72.6%	77.3%	83.8%	48%	74.3%
小売業	269	72%	81%	83.9%	50.9%	72.5%
銀行業 重要インフラ：金融	79	88.4%	94.2%	27.3%	23.2%	39.2%
証券、商品先物取引業 重要インフラ：金融	29	88%	92%	72%	40%	48.3%
保険業 重要インフラ：金融	12	77.8%	88.9%	87.5%	33.3%	41.7%
その他金融業 重要インフラ：金融・クレジット	29	82.6%	91.3%	62.1%	39.1%	44.8%
不動産業	92	73.5%	75.9%	89.4%	55.4%	75%
サービス業	376	62.8%	70.4%	83.5%	50%	75.2%

— は5社未満などで出さない数字。重要インフラの分野は、国家サイバー統括室の統一基準（2026年10月1日施行・16分野）に対応する東証の業種です。業種に入っていても、その会社が重要インフラ事業者とは限りません。

調べた範囲：公式サイトのトップページ・robots.txt・メールの設定（DNS）。AI 検索の項目は、トップページの HTML を JavaScript を動かさずに読んだ結果です（AI が実際に各社をどう答えているかは、この調査には含みません）。対象は EDINET（金融庁）の上場会社のうち、公式サイトの住所が分かった会社です（Wikidata）。株式会社アーグマックスが調査用に開発した一斉点検の仕組み（非売品）で調べました。市販の KnownFor には含まれません。市販の KnownFor では、組織に所属し登録された担当者だけが、その組織のサイトを点検できます。

発行：株式会社アーグマックス（KnownFor）・東京都文京区本郷五丁目1番11号 KII HOUSE202・info@knownfor.jp。毎週更新し、過去の版は www.knownfor.jp/docs/stats/ からダウンロードできます。